

新型コロナウイルス感染症ガイドライン

九州高体連少林寺拳法専門部

1. 入場者

- ① 入場を認めるのは、参加者（拳士）、審判員、引率者、運営スタッフ、来賓、高体連専門部より特別に許可を受けたもの（報道関係者など）とし、それ以外の入場を禁止する。また下記に該当する者は参加を見合わせること。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 大会開催2週間前から指定の「健康観察チェックシート」に体調・体温を記録し受付時に提出すること。（選手については、「2. 選手・入場者」の①に定める）
- ③ 入館時に、専用のスタッフの指示のもと検温及び手指消毒を行うこと。
 - ・不確かな参加者がいた場合は、状況により参加を許可しない。（一見して体調が悪そうに見える、顔がほてっている、風邪の症状が見られる等）
- ④ マスクを持参し、入館後は常時着用すること。（競技・飲食時以外）
- ⑤ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑥ 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ⑦ 大会中に大きな声で会話、応援等しないこと。
- ⑧ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

2. 選手・引率者

- ① 選手及び保護者は、「大会出場同意書」を校長に提出し、同意書は各学校で保管すること。
- ② 各校の引率者は、選手・引率者の「健康観察チェックシート」を集約し「体調管理表」にまとめ、「体調管理表」を受付時に提出すること。引率者は、試合前に選手の健康状況（含む検温状況）を確認し、体調不良の選手については保護者及び学校管理職に連絡の上参加させない。
- ③ 3密を避けるため、受付や試合時間等を事前に十分に把握し、迅速な行動を心がけること。また競技終了後は速やかに更衣を済ませ帰宅すること。
- ④ 待機場所で、マスクを外し、持参のビニール袋に入れて保管をすること。演武前と終了後に消毒薬で手指～肘・足～膝の消毒を行うこと。
- ⑤ 呼び出し係に名前を呼ばれた際は、返事ではなく手を挙げ、その後コートに入場して演武を行うこと。
- ⑥ 握手、ハイタッチ、肩を組むなどの競技以外での身体接触を控えること。
- ⑦ 競技中の声援などの応援は慎むこと
- ⑧ タオル、飲料などの共有は行わないこと。
- ⑨ 団体演武においては、参加申込後の選手交代を認める。

3. 競技

- ① マスクなし、気合ありで行う。

(ただし、状況が変化すれば、競技中にマスク着用、気合は含気合のみとする場合があるゆえ、拳士は、競技用のスポーツマスクを大会に持参しておくこと。また、マスク着用あり／なし、気合あり／含気合のみの両方を練習しておくこと)

4. 開会式・閉会式

- ① 開会式・閉会式は行わない。
- ② 競技前に、アリーナで令和元年度総合優勝県の優勝旗返還を行う。
- ③ 全競技終了後、入賞者を発表し、アリーナで賞状・優勝旗を授与する。
- ④ 競技終了後の退去（帰宅）を認める。1日目で競技が終わる出場者と引率者には2日目の観覧を認める。
- ⑤ 単独演武の予選通過者の発表は、1日目放送で行う。

5. 観客

- ① 無観客とする。

6. 提出書類

- ① 「大会出場同意書」顧問に提出し、各学校で保管
- ② 「健康観察チェックシート」顧問に提出、大会終了後1か月間各学校で保管
- ③ 「体調管理表」選手が提出した「健康観察チェックシート」をもとに作成し、19日、20日入館時受付に提出